



第4回 熊版展

県内各地で版画活動をしている者、20人の仲間が年に1回展覧会を開きます。全国規模の展覧会常連で同人になっている者も、最近制作を始めて楽しんでいる者も一緒に作品を並べます。木版、シルクスクリーン、きり紙版と版種や大きさもさまざまです。気分を入れた作品や楽しんで作った作品、それぞれの持ち味や版画の明快さ、美しさを楽しんでください。

なお、版画の作り方などを分かりやすく解説してあります。

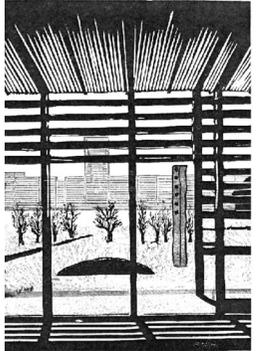


■期間 3月29日(火)～4月10日(日) ■観覧無料



第5回 不知火アート展

■期間 4月12日(火)～17日(日) ■観覧無料



不知火美術館の講座で学んだ後グループを作り、自主的に制作を続けている油絵、淡彩画、版画、きり絵の4クラブと、講座が終了する絵手紙、俳画の2グループが互いに磨き合い、励まし合い、学び合いながら制作した作品の発表をします。各グループには随時どなたでも入会できます。どうぞ美術館へ足を運んでください。

なお、本年度の講座の案内が決まりましたら、広報紙などでお知らせします。

| 講座情報 | |
|------|------------------|
| 油 絵 | 第2火曜日 午後2時～ |
| 淡彩画 | 第3金曜日 午後2時～ |
| 版 画 | 第1・3土曜日 午後1時30分～ |
| きり絵 | 第2・4金曜日 午前10時～ |
| 絵手紙 | 第2・4木曜日 午後1時30分～ |
| 俳 画 | 第2・4土曜日 午後1時30分～ |

※場所はいつでも美術館アトリエ

展覧会情報

| 期 間 | 展 覧 会 名 | 観覧料 |
|------------------|--------------------------------|-----|
| 4月19日(火)～24日(日) | あぶりこっとパッチワーク作品展「わたしのお家に遊びにおいで」 | 無料 |
| 4月26日(火)～5月1日(日) | 大木千波個展「くるくるまわる」 | 無料 |
| 5月6日(金)～6月5日(日) | 不知火出身の野田哲也版画の世界展 | 無料 |

Book Information ～話題の本～

根っこのこどもたち目をさます

ジビレ・フォン・オルファース 絵
ヘレン・ディーン・フィッシュ 文
いしい ももこ 訳



春がゆっくり近づいてきたころ、ぐっすり眠っていた根っこの子どもたちを、土のお母さんが起こして歩いていました。さあ、起きなさい。春が来ますよ。仕事を始めなくてはいいません…。黄色いやさしい表紙が、暖かい春の訪れを告げているようです。

◆ジビレ・フォン・オルファース：1881～1916年ドイツ生まれ。女子美術学校を卒業後、修道女となり、カトリック系小学校のシスター教師として、主に美術を教える。著書に「森のおひめさま」等。

おわりの雪

ユベール・マンガレリ 著
田久保 麻里 訳



病床の父と暮らす少年は、ある日1羽のトビを手に入れるためにつらい任務を引き受ける。父と子、死と記憶、季節の移ろい…。深い闇と淡い光の中に、空想と幻想に満ちた幼い日々が静かに浮かび上がる。「おわりの雪」とは、記憶に残る心そのもののなつかしさを、メディンス賞受賞作家による、胸に迫る小説。

◆ユベール・マンガレリ：1956年フランス生まれ。さまざまな職を転々とした後、89年作家デビュー。

4月23日は「子ども読書の日」です

4月は「子ども読書の日」に合わせて次のとおり各館でイベントが行われます。

- 三角図書館……………☎53-1849
- 図書館オリエンテーション・ミニミニおはなし会 28日(木) 午後2時～
初めて図書館を利用する小学校低学年を中心に、オリエンテーションを通して一人で図書館を利用する楽しみを味わおう！その後、ミニミニおはなし会で読書することの喜びと楽しさを味わおう！
- 不知火図書館……………☎32-6211
- おはなし会 23日(土) 午後3時～
絵本、紙芝居の読み聞かせの後、お楽しみ会として楽しい時間を過ごし、図書館に親しもう！
- 松橋図書館……………☎32-0878
- 春のお話会 23日(土) 午前10時10分～11時
いつもより長いおはなし会で読書の楽しさを味わおう！
- 小川図書館……………☎43-5111
- スイムまつり(図書館誕生祭) 30日(土) 午前10時～午後4時
人形劇『かすべる』・古本市・たのしい絵本展・布を使ってボランティアさんと一緒に『お散歩あおむし』をつくろう！
- 豊野図書館……………☎45-3205
- おはなし会(小学校低学年対象) 23日(土) 午後1時30分～
折り紙製作や児童向けの本の紹介を通して図書館を利用する楽しさを味わおう！

UKI CITY 図書館のまど

| 開館時間 |
|--|
| 10:00～18:00 (土・日は17:00まで) |
| 休館日 |
| 月曜・祝日(月曜と重なる場合はその翌日)・毎月末日(休館日と重なる場合はその翌日)・年末年始 |

参加者の声



浦辺奈美江さん・将大ちゃん親子(左・三角町)と田村美樹さん・友新ちゃん親子(右・三角町)
「これからは本を選んで読んであげたい」と語る浦辺さんと田村さん



藤本二郎さん(三角町)
「これからは寝る前の早い時間に本を読んであげたい」

「子どもの成長と物語」をテーマにした子ども読書活動推進講演会が3月19日、三角市民センターであり、子育て中の母親や父親ら約150人が参加しました。「冒険者たち」「ガリツクの冒険」など、児童文学の著作活動を続ける作家齋藤惇夫さんが講師を務め、長崎佐世保で起こった児童による殺傷事件を例に挙げ、メディアが与える子どもへの影響を強調。「幼児のころだけ身近な人間に笑い掛けられ、だっこされたかたが脳の発達が決まる」「怖い本でも大人がそばで読むことで子どもは安心して本の世界に入り楽しむことができる。たとえ字が読めるようになっても、少なくとも小学3年生までは本を読み聞かせてほしい」と呼び掛けました。

また、守守歌は「地方で守られてきた言葉の結晶」であり、「歌を通じて子どもは愛されていると感じる」と齋藤さん。国の言葉が子どもの心に深く染み込むよう、たくさんのおわらべ歌を歌って子育てをしてほしいと助言しました。



「読み聞かせは小学3年生まで」
児童文学者齋藤惇夫氏が講演